

---

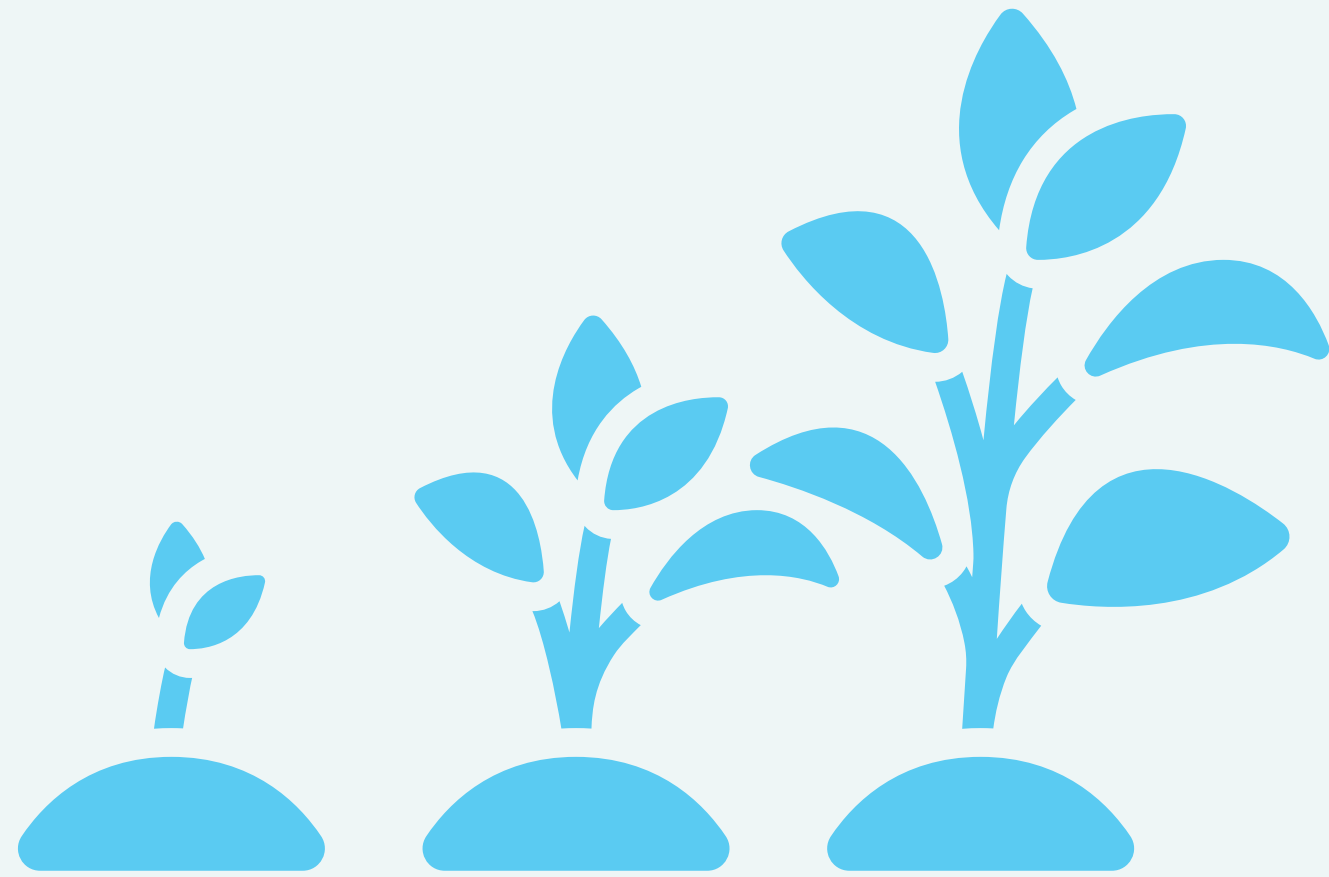
クラウドファンディング型ふるさと納税

# 余市町ふるさと納税 3. 0 事業

Ver.1

(2024.4.1)

---



- 01 3. 0 事業とは
- 02 補助の構成
- 03 よくある質問と回答

# 目次

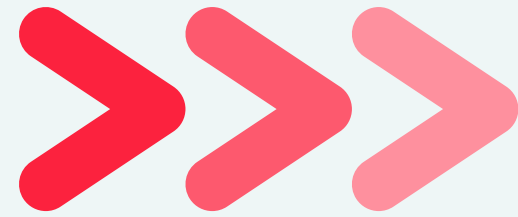
---

PREMISE



3. 0 事業とは

# 01 「余市町ふるさと納税3.0事業」とは



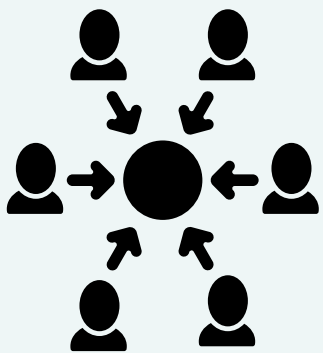
「クラウドファンディング型」の  
「ふるさと納税」であって、  
「事業者」がプロジェクトを考える

## 01 クラウドファンディングとは

クラウド（群衆）  
ファンディング（資金調達）



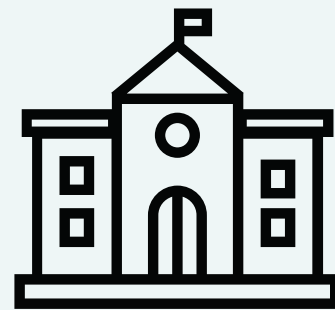
資金を調達したい人が  
プロジェクトを公開し、  
不特定多数の人が支援を行う  
システムのこと



## 02 クラウドファンディング型の ふるさと納税とは

プロジェクトの資金調達  
をふるさと納税で行い、  
その「実質収入（寄附額  
－お礼の品代－経費）」  
でプロジェクトを実施す  
ること。

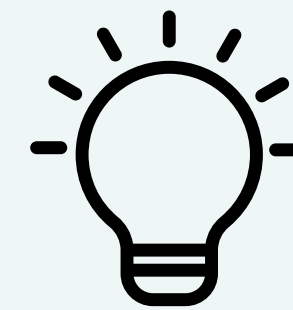
\* 一般的には自治体がそ  
の事業を実施します。



## 03 事業者がプロジェクトを 考えるとは

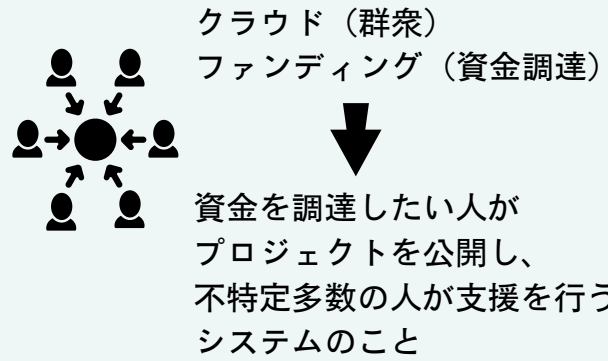
プロジェクトを余市町が  
公募し、その範囲で事業  
者がプロジェクト考え応  
募する

そのプロジェクトに集ま  
った「実質収入」を余市  
町から補助金として交付



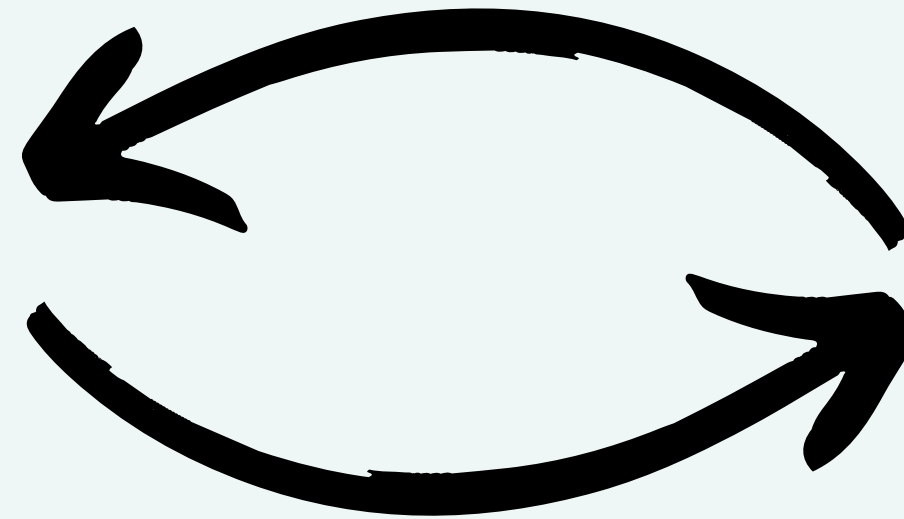
01

クラウドファンディングとは

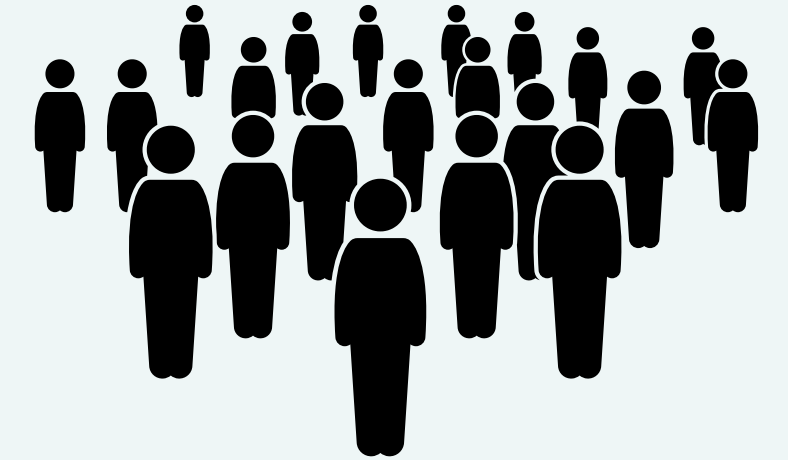


プロジェクト起案者

出資



リターン



プロジェクトに共感する多くの方

Case1

〇〇でお店を開きたい！

夢であるクラフトビール工場を作りたい  
1口1万円で応援してくれる人を募集します！  
100万円集まったら着手します！  
集まらなければお金はお返しします！

応援してくれた人には工場ができれば  
最初のビールを贈ります！

Case2

捨て猫を救いたい！

捨てられてしまう猫を助けたい！  
1口1万円で応援してくれる人を募集します！  
お金が集まった分だけ多くの猫を救います！

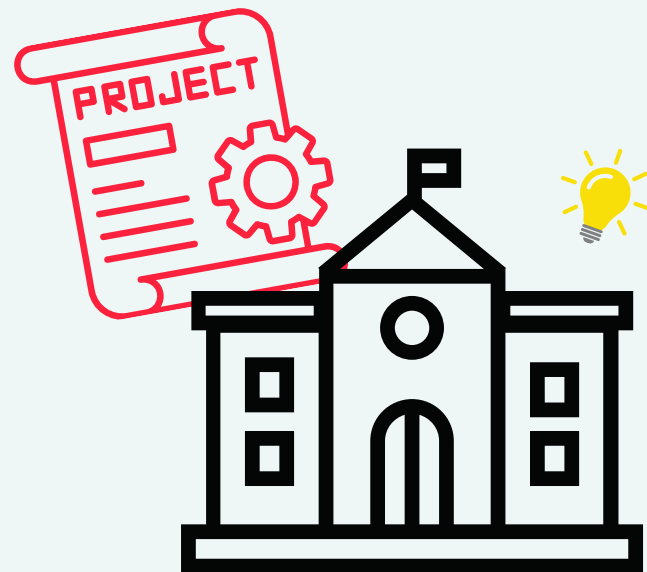
応援してくれた人には猫の保護状況や  
活動状況を毎週メールで送ります！

## 02 クラウドファンディング型の ふるさと納税とは



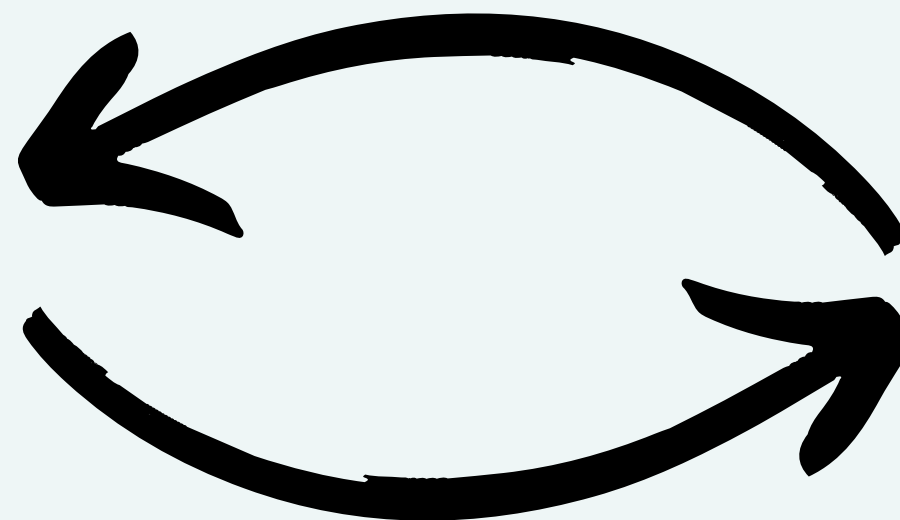
プロジェクトの資金調達をふるさと納税で行い、その「実質収入（寄附額－お礼の品代－経費）」でプロジェクトを実施すること。

\*一般的には自治体が行う事業を実施します。

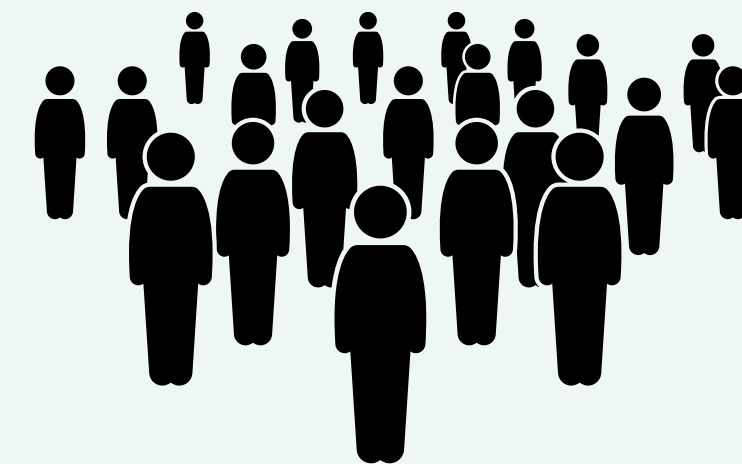


プロジェクト起案の自治体

## ふるさと納税



お礼の品



プロジェクトに共感する多くの方

### Case

### 道の駅を整備したい！

「まちの成長のためには道の駅が必要で皆さんの応援が欲しいです」

「いただいた寄附はすべて道の駅の整備に使います」



ふるさと納税で集まった寄附のうち、実質収入の部分を道の駅の予算に

ここを財源として行う「プロジェクト」を前面に出し、寄附を集めて、まちがプロジェクトを実施する

お礼の品 30%	経費 20%	実質収入 50%
-------------	-----------	-------------

### 03 事業者がプロジェクトを考えると



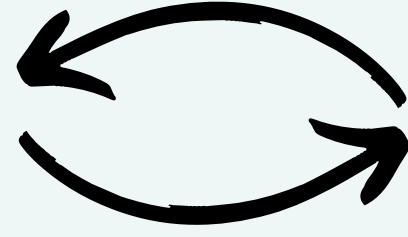
プロジェクトを余市町が公募し、その範囲で事業者がプロジェクトを考え応募する

そのプロジェクトに集まった「実質収入」を余市町から補助金として交付

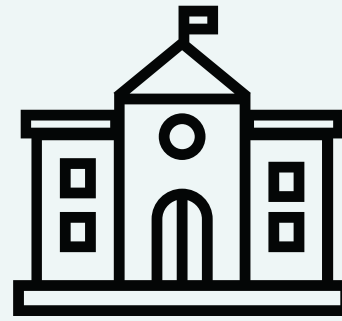


プロジェクト起案者

採用

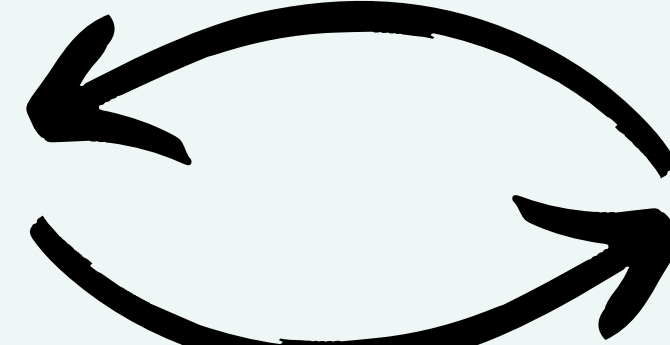


応募

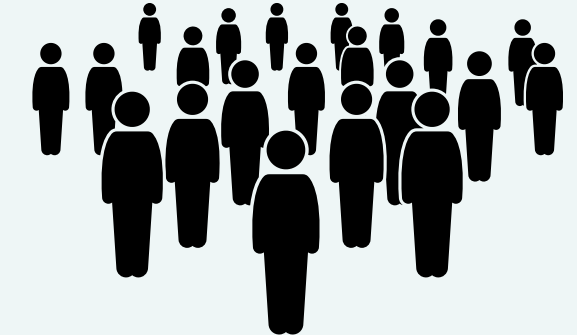


自治体

ふるさと納税



お礼の品



プロジェクトに共感する多くの方



プロジェクト  
イメージ

新たな観光地として〇〇を作りたい！

新たな産業として〇〇を作りたい！

地場原料で新たな特産品を作りたい！

今作っている〇〇をよりこうしたい！

まちで〇〇のような活動をしたい！

まちで起業をしたい！

ここを財源として行う「プロジェクト」を前面に出し、寄附を集めて、町がこの部分から補助金を交付

お礼の品  
30%

経費  
20%

実質収入  
50%



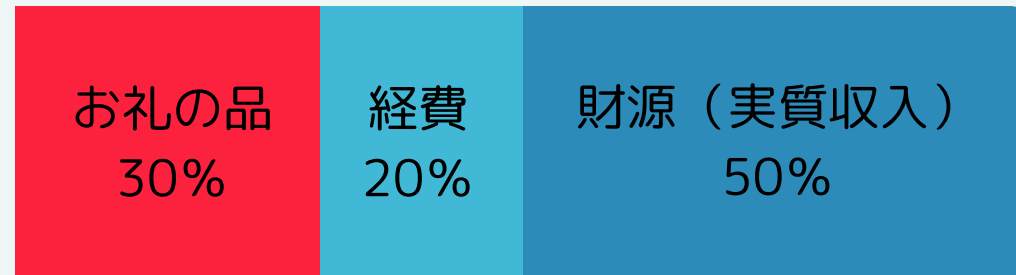
# 寄附者から見ると…

## 通常ふるさと納税

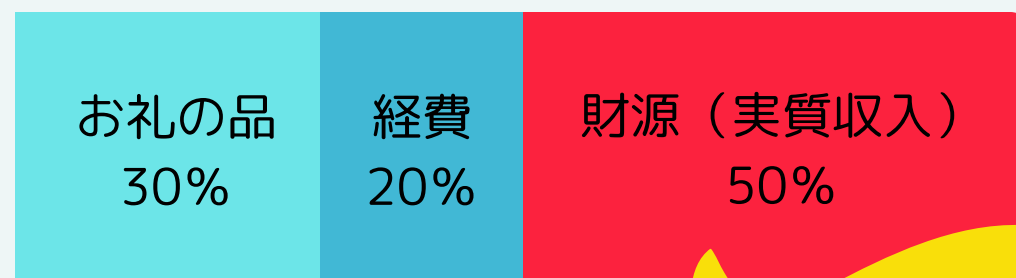


お礼の品何にしよう

### 1 お礼の品を選び、寄附をする



### 2 地方の応援にもなる



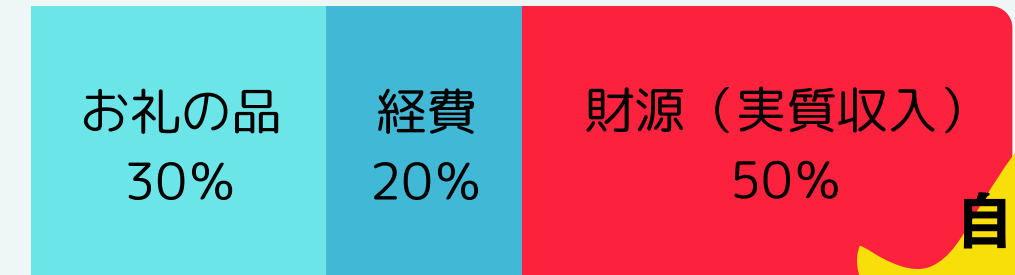
自治体で用途選定  
例：医療費無償化  
…等

## クラウドファンディング型 ふるさと納税



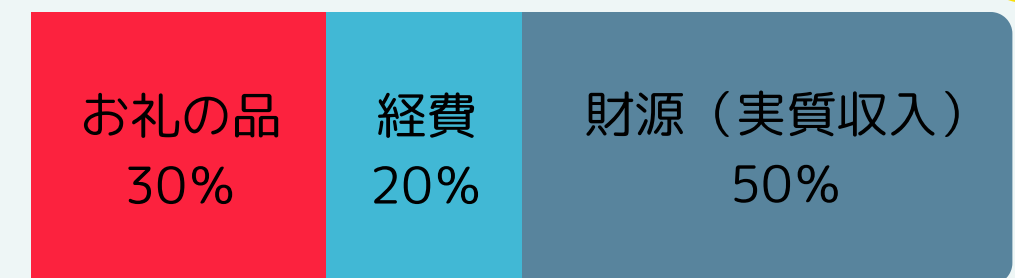
どの取組を応援しよう

### 1 応援する取組を決め、寄附をする



自治体施策  
or  
「3.0企画」では  
事業者の提案

### 2 お礼の品も届く





CONFIGURATION





補助の構成

# 02 補助の構成



## 2種類に分け公募

	 地場産品・産業創出型	 SDGs・社会貢献型
補助対象事業	新たな地場産品や地場産業を創出事業 or 既存の地場産品や地場産業であって、その生産力や規模の拡充をする事業	強くSDGs項目を推進するためのもの
補助金額	最大で10/10 * 集まった寄附金額のうち4/10	
採択	公募型・審査あり 2~3か月に1プロジェクト採択（予定）	公募型・審査あり 6か月に1プロジェクト採択（予定）
交付時期	最短で募集終了後の補正予算可決後以降 * 原則的に概算払いはなく、実績報告後	

次ページに詳細

# 補助金額

最大で10/10

\* 集まった寄附金額のうち4/10



100万円の設備  
があれば…

**最大で  
全額の100万円補助!**

この「財源①」という意味

お礼の品 30%	経費 20%	財源(実質収入)① 40%
-------------	-----------	------------------

ご自身で用意。  
もちろん代金は  
お支払いします

財源②  
10%

ここは別途町の全体的  
な事業に使います

\*理由➡Q&A参照

- 注1 100万円の補助金を目指す場合は、寄附金額の目標が約250万円になります。
- 注2 100万円の補助金を要望したとしても、寄附金額が200万円の場合、 $200万 \times 0.4 = 80万円$ となります。
- 注3 目標額に達した場合、その時点で募集は終了とする予定です。
- 注4 プロジェクトは概ね2～3か月ほどの募集期間とする予定です。



**つまり**

**ふるさと納税の制度を使い、  
自己負担なく新しい取組を行うことが可能！**

# QUESTION & ANSWER



よくある質問と回答

## 03 よくある質問への回答

〇〇は対象経費となるか？

公募時の要領をご確認ください。原則的にイニシャルコストのみとなります。

余市町内に事業所がある企業のみが対象か？

原則、余市町内に事業所等を有している者が対象となります。

ただし、町内への事務所移転や起業といった計画があり、実効性があると認められる場合には対象とします。  
また、政治団体・宗教団体・町税の滞納がある場合等、対象外規定もあります。

寄附の募集ページは誰が作るのか

余市町側にてヒアリングをさせていただきながら作成します。

ただし、本制度の性質上、事業者側でも精力的にライティングや構成の考案などをしていただきます。

何のポータルサイトを使うのか

ふるさとチョイスを活用する予定です。

ただし、令和6年度中に町独自のページを作成し、完成の際にはそのページを活用します。

この場合、アクセスの自然流入は少ないことが予想されますので、事業者側のPRがなくては目標到達は困難と考えていますのでご承知おきください。

## 03 よくある質問への回答

なぜ4 / 10なのか？ 5 / 10のほうが嬉しいが？

町の実施する事業である以上、一定程度は直接的に他の町施策の財源とするべきと考えていますのでご了承ください。

どのような審査があるのか？

公募への応募時に提案書を提出してもらいます。

その提案書を元に、担当にてヒアリングをし、余市町で設置する審査会により採択・不採択の決定をいたします。本企画は利害関係等が多く発生することが予想されるため、外部の人材をいれず、オブザーバーとして入れる場合にも、町外の第三者への依頼を考えています。

寄附が集まらなくても、プロジェクトの実施は絶対やらなくてはいけないのか？

目標金額の1/2以上の寄附が集まった場合に補助金を交付し、1/2未満の場合には補助金の交付をしないものです。補助金の交付をしない場合にはプロジェクトの実施は任意です。

ただし、実施可否等について画一的なものとはせず、要相談と考えていますので、応募時にその旨を記載してください。また、御礼の品については、当初提示してもらったものを、プロジェクト断念時にも贈っていただきます。

ただし、プロジェクト実施を前提に贈るような性質のものである場合等は「余市町ふるさと納税カタログ」を送付し、同額のものをお選びいただきます。



## 03 よくある質問への回答

### 実績報告や公表については？

制度自体が税額控除により成立しているものであり、補助金も公金となりますので、実績報告は町へ提出を必須とし、町はHP等によりその実績等について公表を行います。  
また、事業者側でもその応援してくれた寄附者への報告等をし、寄附金の使われ方について直接メールやSNS等により行っていただくことを推奨します。

### 他の町や道、国の補助金との併用はできるのか？

併用は可能とします。  
ただし、同じ対象経費に対し、別の補助金の交付を受けている場合、合計の補助金額が対象経費を超えるのであれば、町からの補助金については返還をしてもらいます。

### お礼の品はどのようなものを用意すればいいのか

申請事業者側により、創意工夫のある設定をお願いしたいと思います。  
また、決して新規開発したお礼の品ではなく、既存のお礼の品でも可能です。  
本制度については、プロジェクトの取組内容が大切なものですが、より魅力的なお礼の品を用意することで、より多くの寄附につながる可能性があります。